

カトリック大磯教会だより

2025 年 7月号

2025/6/29 発行

〒255-0002 神奈川県中郡大磯町東町 2-7-1

カトリック大磯教会(宣教部広報)

Tel 0463-61-0303/Fax 0463-61-9889

URL <http://www.scn-net.ne.jp/~cathoiso/>



希望の巡礼者

岩城 秀彦

6月14日(土)、私は武蔵小杉のカトリック中原教会で開催された「信徒・修道者・司祭がともに信仰を分かち合う交流会」に参加してまいりました。テーマは「希望の巡礼者-Pilgrims of Hope-」。2025年の聖年のテーマとしてフランシスコ前教皇が提唱された言葉です。このテーマは、困難な時代にあっても希望を持ち続け、神の恵みによって前進する巡礼者の姿を象徴していると思います。

当日スケジュールは、

9:30	受付開始	13:30	グループ作業
10:00	全大会オリエンテーション	14:00	ミサ
11:00	グループでの分かち合い	15:00	全体懇親会
12:30	昼食		

という内容で進行し、参加者は、修道者・司祭を除き邦人24名、フィリピンコミュニティーを中心とした外国籍23名と大勢の信徒が集いました。横浜教区の中で第1～第5地区の方で占められ、第6地区はシスター・ジョイと私の2人だけでしたが、私にとってはとても内容の濃い有意義なものとなりました。どこが有意義だったのか？それは山手教会の鈴木真神父のオリエンテーションのお話です。

鈴木真神父は霊名が私と同じミカエル、私もかつて通った由比ガ浜教会がご出身ということで、以前から親近感を抱き、各所でお会いするたびにお話をさせていただいておりました。そして、師にはこの日のオリエンテーションで、聖年の巡礼に関する以下の大変興味深いお話をいただきました。





聖年(Holy Year, Jubilee Year)は25年に1回行われ、カトリック教会において「ローマ巡礼者に特別の赦しを与える」とした年であります。これはヨベルの年(レビ記25章10節)に由来し、7日に1日安息日があるように、7年に一度安息年があります。6年間は畑に種を蒔き、収穫しなければならないが、7年目は土地を休ませなければならない。畑に種を蒔いたり、ぶどう畑の枝をおろしたりしてはならない。地の全き休みの年である、と書かれています。今で言う耕作地の休閑や輪作の手法で、7年に1回土地を休ませなさいという教えです(私が思うに極めて合理的で科学的な方法です)。

土地を休ませることによって、むしろ生産力は増し、奴隷や雇い人、居留者、家畜、獣の全てが、その収穫の恩恵にあずかることができます。土地を安息させることは一見、

その年の収穫がなくなって大きな損失を被るように感じますが、実は主の働きによって、さらに大きな収穫が得られるようになりますよ、と教えています。

7年毎の安息年を7回繰り返した翌年、すなわち、 $7 \times 7 + 1 = 50$ 年に一度がヨベルの年、つまり聖年となりました。国中の全ての住民に解放を宣言し、それぞれ自分の所有地に帰り、家族のもとに帰らなければならない、とあります。つまり、ヨベルの年は解放を宣言する年です。自分が貧して土地を売ってしまっても、土地を買い戻し、もともとの所有者のものとなるような年を定められたのです。あらゆる負債が帳消しとなる解放の時であり、元の状態に回復される時です。安息とは「元の状態に戻る」ということを意味します。

但し、このような「大変有難い」聖年が50年に一度では、人間は一生に一度その恩恵に与れるかどうかで大変長過ぎる。半分に短縮しようということで、現在の25年になりました。

聖年の開始時に、ローマの四つの大聖堂(聖ペトロ大聖堂、城壁外の聖パウロ大聖堂、ラテラン大聖堂、聖マリア大聖堂)にある「聖なる扉」が開かれ、聖年の終了とともに閉じられます。聖年には、カトリック信者たちは長い巡礼の旅の終わりに聖なる扉をめぐり、ローマの大聖堂に保存されている使徒ペトロとパウロの聖遺物を崇敬することによって、教会の霊的宝に触れて来ました。何世紀もの間、何百万人もの巡礼者がこれらの聖なる場所を訪れ、堅固な信仰の生きた証としてきましたが、巡礼地はローマに限らず、日本国内でも聖年のために指定された場所、またはその他聖なる場所へ巡礼することとされています。



2015年12月8日、サンピエトロ大聖堂の聖年の扉を開ける教皇フランシスコ

これによって免償を受けることができます。免償とは「罪科としてはすでに赦免された罪に対する有限の罰の神の前におけるゆるしである。キリスト信者はふさわしい心構えを有し、一定の条件を果たすとき、教会の助けによってこれを獲得する。」と『カトリック教会のカテキズム』1471にあります。前教皇フランシスコは、すでに2015年のいつくしみの特別聖年を公布する大勅書において、聖年の期間中、免償を受けることが「とくに大切」であることを強調されました。

ところで、そもそも「巡礼」とは何でしょうか？…鈴木師は次のように話されました。それは日常を離れて宗教的由来の地に赴くことです。これは世界中の宗教や文化の中にある行為で、例えば日本では四国のお遍路さんや熊野詣でなどがあります。カトリックの巡礼とは、聖人の由来の地、聖堂などに赴き、神とのつながりを求めるもので、聖年に巡礼が推奨される理由は、教会は一つ所に留まるものではなく、常に出かけていく共同体＝「旅する教会(第2バチカン公会議)」だからです。巡礼によって与えられる人や物、自然などとの「出会い」があります。そして神の愛に気付くこと、確信を得ることができます。巡礼という行為によって、そこに神がはたらかれていることを感じられる、そのことに気付くという「希望」があります。

日本の「詣で」や「参り」との共通点は、「御利益(ごりやく)」を得ることと「歩く」巡礼であることです。ここで御利益は通常、家内安全、無病息災、商売繁盛、縁談成就などを意味すると思いますが、それが悪いとは言いません。しかし**真に仏教的な意味は、「神仏の恩恵に気づくこと」**だそうです。商売繁盛や縁談成就も否定しないけれども、もっと深い意味はそれですよということです。神仏の恩恵と神の愛とは全く一緒のことです。「気づき」への行為という点でも共通しています。パワースポットを訪ねることも自然との出会いです。自然の中にいると神のはたらきを五感で感じることができます。

また、「非日常」へ出かけていくという点では「ミサ」も同じです。そこで何かが変わり、そして日常へ戻る(派遣されていく)という一連のプロセスが一緒なのです。その意味では、別に遠くへ旅立つことだけが巡礼ではありません。**人や物、自然との出会いの中で神の愛に触れる、気づくのも巡礼だし、**どのような状況であれ、そこで**神とのつながりを見出すとき、全てが「巡礼」になり得る**のです。

私は鈴木師の話でこの部分が最も合点がいきました。腹落ちし納得しました。

だって、健康な身体と足、経済的、時間的に余裕がない人はどうすれば良いのですか？巡礼できないのですか？…いやいや、そんなことはないですよ。どのような状況にあっても、そこで神とのつながりを見出すことが「巡礼」なのです。このお話はとても包容力と慈愛に満ちています。

それではここで、一気に話の流れを変えて、ローマやエルサレムやサンチャゴにはなかなか行けないけれど、近場だったら行ってみたいという方、日本国内にも巡礼指定教会というのがかなり多くあるので、次頁で具体的にご紹介いたします。因みに横浜教区は山手カテドラルだけなので、是非皆さん、今年中に一度カトリック山手教会を尋ねられてはいかがでしょうか？ひょっとしたら鈴木真神父の有難いお説教を聞けるかもしれないし、ご利益があること請け合いです。ご家族とご自分の健康、亡くなられた親族やお世話になった方への感謝の思い、お子さんの合格祈願、仕事の成功、…どれもこれも素晴らしいことだと思います。



分かち合いのグループ4
ディスカッションのまとめ



分かち合いのグループ4の面々
ファシリテータは戸塚教会の櫻井氏

2025 年聖年の巡礼指定教会

カトリック中央協議会 HP より抜粋

教区	指定教会・聖堂	教区	指定教会・聖堂
札幌教区	・札幌カテドラル北一条教会（北海道）	大阪高松教区	・相生教会（兵庫）
	・旭川五条教会（北海道）		・姫路教会（兵庫）
	・釧路教会（北海道）		・加古川教会（兵庫）
	・帯広教会（北海道）		・たかとり教会（兵庫）
	・北見教会（北海道）		・夙川教会（兵庫）
	・宮前町（函館）教会（北海道）		・芦屋教会（兵庫）
	・苫小牧教会（北海道）		・和歌山紀北教会 屋形町聖堂（和歌山）
仙台教区	・仙台カテドラル元寺小路教会（宮城）		・徳島教会（徳島）
	・弘前教会（青森）		・阿南教会（徳島）
	・四ツ家教会（岩手）		・桜町教会（香川）
	・大籠殉教地（旧大籠教会）（岩手）		・松山教会（愛媛）
	・米川教会（宮城）		・中島町教会（高知）
	・広瀬川殉教碑（宮城）	広島教区	・広島カテドラル幟町教会（世界平和記念聖堂・広島）
	・野田町教会（福島）		・山口教会（サビエル記念聖堂・山口）
新潟教区	・新潟カテドラル新潟教会		・米子教会（鳥取）
	・高田教会（新潟）		・岡山教会（ディエゴ喜斎記念聖堂・岡山）
	・長岡教会（新潟）		・津和野教会（島根）
	・山形教会（山形）	福岡教区	・福岡カテドラル大名町教会（福岡）
	・秋田教会（秋田）		・浄水通教会（福岡）
	・聖体奉仕会修道院（期間：4月-7月、9月-11月）（秋田）		・久留米教会（福岡）
さいたま教区	・さいたまカテドラル浦和教会（埼玉）		・小倉教会（福岡）
	・太田教会（群馬）		・佐賀教会（佐賀）
	・松が峰教会（栃木）		・大江教会（熊本）
	・水戸教会（茨城）		・島崎教会（熊本）
東京教区	・東京カテドラル聖マリア大聖堂（関口教会・東京）		・八代教会（熊本）
	・秋津・清瀬・小平教会（東京）	長崎教区	・長崎カテドラル浦上教会（長崎）
	・神田教会（東京）		・滑石教会（長崎）
	・北町教会（東京）		・出津教会（長崎）
	・麴町教会（東京）		・島原教会（長崎）
	・関町教会（東京）		・城山教会（長崎）
	・高輪教会（東京）		・三ツ山教会（長崎）
	・調布教会（東京）		・中町教会（長崎）
	・築地教会（東京）		・馬込教会（長崎）
	・八王子教会（東京）		・岳教会（長崎）
	・五井教会（千葉）		・相浦教会（長崎）
	・西千葉教会（千葉）		・三浦町教会（長崎）
	・松戸教会（千葉）		・神崎教会（長崎）
横浜教区	・横浜カテドラル山手教会（神奈川）		・平戸ザビエル記念教会（長崎）
名古屋教区	・名古屋カテドラル布池教会（愛知）		・田平教会（長崎）
	・主税町記念聖堂（愛知）		・木ヶ津教会（長崎）
	・豊橋教会（愛知）		・青砂ヶ浦教会（長崎）
	・七尾教会（石川）		・桐教会（長崎）
	・輪島教会（石川）		・江袋教会（長崎）
	・金沢教会（石川）		・福江教会（長崎）
	・大垣教会（岐阜）		・井持浦教会（長崎）
	・福井教会（福井）		・打折教会（長崎）
	・富山教会（富山）		・大山教会（長崎）
京都教区	・京都カテドラル河原町教会（京都）		・貝津教会（長崎）
	・丹後教会宮津教会堂（京都）		・土井ノ浦教会（長崎）
	・福知山教会（京都）		・山田教会（長崎）
	・奈良教会（奈良）	大分教区	・大分カテドラル大分教会（大分）
	・大津教会（滋賀）		・別府教会（大分）
	・鈴鹿教会（三重）		・野津ルルドの丘（大分）
	・四日市教会（三重）		・宮崎教会（宮崎）
大阪高松教区	・大阪カテドラル聖マリア大聖堂（玉造教会・大阪）	鹿児島教区	・鹿児島カテドラル ザビエル教会（鹿児島）
	・大阪梅田教会（大阪）		・名瀬聖心教会（鹿児島）
	・大東教会（大阪）		・母間教会（鹿児島）
	・堺教会（大阪）	那覇教区	・那覇カテドラル開南教会（沖縄）
	・岸和田教会（大阪）		・名護教会（沖縄）
	・泉佐野教会（大阪）		・宮古島平良教会（沖縄）
	・高槻教会（大阪）		・石垣教会（沖縄）

2025年6月度 教会委員会議事録要約

1. 日時場所 2025年6月7日(土)10:00～11:30 信徒館
2. 出席者 テハン神父・浅石(進行)・岩城・本田・松澤・増澤・野口・平田・鈴木(書記)
3. 内容
 - (1) 典礼関係
 - ・上智大学神学部の黙想会を8月16日(土)～17日(日)実施予定。教会側窓口は岩城さん。企画書と施設利用申込書を提出してもらい、保険や約束事など伝える。
 - ・6月22日(土)14時～6地区典礼部会 ローテーション作成。
 - ・恵の会候補日9月21日または14日 平塚教会と調整。
 - (2) 宣教関係
 - ・25年入門講座の報告
 - 1)金曜講座 説明会5月16日実施 金曜日13:30～15:30月3回開催。
5月23日より開講6月20日まで新規受付 期間1年半の予定
ヘルパー:達崎・藤林・星(月1回)参加者:未信者4名 信徒2名
 - 2)日曜講座 日曜ミサ後 不定期 期間10か月の予定。ヘルパー:達崎 参加者:未信者1名 信徒1名
 - ・ホームページ
 - 6/2「教会講座」の入門講座を修正、お知らせ欄でも告知。
 - 6/3 大磯教会信徒のページに、6/1 稲葉神父のミサ後の信徒とのお茶会記事を掲載。
 - (3) 福祉関係
 - ・5/18 第6地区全体会で,LSGs(ラウダート・シ・ゴールズ)について分かち合いを行った。教会としても、できることを見つけていきたい。
 - ・9月14日恵の会は福祉部が企画する。
 - (4) 財務関係
 - ・財務資料詳細が掲載された委員会議事録完全版の内容が知りたい方は、委員会議事録を閲覧できるようにする。
 - ・委員会議事録と教会報は毎月庶務係が保管する。
 - (5) 管理関係
 - ・石川さん作業報告 5月は敷地内草刈り作業。6月は松の剪定他予定(石川さんと教会で覚書を取り交わす予定)。
 - ・5月の信徒による植栽管理 岩城さんのバラほかの花弁管理、植え込み雑草処理、西側雑木伐採他。
 - ・6/29(日)ミサ後の信徒による敷地内作業の予定。伐採後の残渣整理検討。
 - ・剪定枝の処分について。敷地内に相当数放置されている剪定枝と切り株を収集し廃棄処分→グリーンリサイクルに出したい。軽トラ2杯分位、費用1万円前後、作業日は6月13日(金)もしくは19日(木)の予定なのでお手伝いできるかた歓迎。
 - (6) その他
 - ・第6地区合同サマーキャンプについて
日程:8月2日(土)9時半～3日(日)15時 大磯教会にて 指導司祭:李神父・韓神父。
今年は6地区合同で企画、参加人数も多数となり、細かい計画が必要となる。
6/15 案内と申込書の配布 7/20 締め切り 事前準備からお手伝いのご協力をお願いします。
 - ・キャンプの為、委員会は8/9、月例会は8/17に変更

- ・第6地区青年部が発足。5/25に第1回青年部会議を行った。サマーキャンプなど積極的に関わっていききたい。代表: 柏木愛奈さん(小田原)副代表: 梶遥花(大磯)。
- ・教会の規約の改正について
今期の教会委員が任期をまたいで活動しているので規約改正が必要。コアメンバーを募って進めるとの委員会の提案によって「しおり」の見直しを行っていく。長谷部さん、渡辺さんを中心に月例会でメンバーを募り話し合いをすすめていただきたい。

4. テハン神父より

6地区全体会でも分かち合った「ラウダート・シ・ゴールズ」が教区と同じ方向性に向いている。大きなみのりがあるように。青年たちの活躍に期待しキャンプなどから生まれてくる、みのりを大事にしてほしい。

次回(第三回)委員会開催: 7月5日(土)10:00～11:30 担当; 進行・鈴木 書記・平田

6月度月例会報告

1. 日時場所 2025年6月15日(日)ミサ後12:10～ 於: カトリック大磯教会信徒館
2. 出席者(敬称略): 17名 松澤夫妻 碓井夫妻 増澤 高橋(伸) 浅石 達崎 佐藤(昭) 長谷部 城戸 堀江 平田 岩崎 浦山 神谷(智) 渡辺
進行: 松澤 記録: 渡辺
3. 委員会報告(詳細は委員会報告議事録参照) 本日は岩城委員長に代わり浅石さん報告
 - (1) 典礼関係 委員会議事録参照 以下補足
 - ・近隣教会から、白、緑、紫のカズラを譲受けました。
 - ・恵の会は、9月14日に決定。
 - (2) 宣教関係 委員会議事録参照
 - (3) 福祉関係 委員会議事録参照
 - (4) 財務関係 委員会議事録参照
 - ・教会内では金額等口頭で報告、記載事項にはセキュリティの配慮から金額は控える。
 - (5) 管理関係 委員会議事録参照 以下補足
 - ・石川さんとは年間15万円の覚書はあるが、今回21万円に上げるのを機会に、作業記録等内容を充実させたい。

4. その他

- ・8月2日(土)～3日(日)のサマーキャンプの内容が決定。第6地区の青年部も共催し、茅ヶ崎・韓神父、小田原・李神父も参加され、大人も子供も募集する大掛かりなキャンプとなりました。(チラシあり)

テーマ「かみさまと友だちになろう！」8月2日(土)～3日(日) 9時: 大磯教会集合
未就学児 500円 学生 1,000円 社会人 1,500円 申込締切 7月20日

・教会委員会規約の改正について、信徒のしおりの改定まで話が膨らんでいる点について話を整理することになった。委員会規約は現状に沿って改修する必要があるが、信徒のしおりは2020年作成とそれほど古くはなく、現状手を付ける必要はないのではないかなと言う意見も多く、この月例会でもまず委員会規約だけを改修したと言うことになりました。これらの意見を踏まえて、7月の委員会で方向性を決めて、テハン師帰国後の8月の委員会で正式に決定してから、関係者でスタートさせようということになりました。

以上

2025年7月及び8月第1週 主日のミサ 奉仕者予定

日	主日 司式	聖書 朗読箇所	聖歌				奉仕者				侍者	ミサ準備	お花当番
			入祭	答唱	奉納	派遣	オルガン	先唱	朗読 *朗唱	奉納			
6日	宮内神父	I イザヤ 66・10-14c							佐藤 や	瀧谷			
		II ガラテヤ 6・14-18	典 50	典 130	典 63	典 98	梶山 真	岩城	下川	清野	松田 真	藤林	高橋
	年間第14主日	福 ルカ 10・1-12、17-20		①②④					* 龍造寺	和田			
13日	テハン神父	I 申命記 30・10-14							渡辺 晃	赤井			
		II コロサイ 1・15-20	典 48	典 115	典 143	典 400	鈴木 郁	浅石 奈	平田	堀江	市原	浅石	野口
	年間第15主日	福 ルカ 10・25-37		①④⑥					* 岩城	松澤			
20日	テハン神父	I 創世記 18・1-10a							松澤 俊	浦山			
		II コロサイ 1・24-28	典 44	典 101	典 123	典 29	碓井 玲	藤林	楠元	市原	松田 富	野口	龍造寺
	年間第16主日	福 ルカ 10・38-42		①②					* 長谷部	海野			
27日	テハン神父	I 創世記 18・20-32							清水	田原			浦山
		II コロサイ 2・12-14	典 80	典 134	典 100	典 395	松田 厚	本田	清野	鈴木	松田 真	達崎	
	年間第17主日	福 ルカ 11・1-13		①②③					* 藤林	平田			
3日	神父	I コレヘト 1・2: 2・21-23							松田 真	松田			清水
		II コロサイ 3・1-5、9-11	典 5	典 35	典 177	典 388	鈴木 郁	岩城	赤井	和田	市原	阿部 公	
	年間第18主日	福 ルカ 12・13-21		①③④					* 楠元	金子			

○ 2025年7月の掃除当番

第1週(～5日)	第2週(～12日)	第3週(～19日)	第4週(～26日)
東・高・大 A	東・高・大 B	西小磯・東小磯	石・国・二

お知らせ

1. 行事予定

- ・7月5日(土) 10:00～ 7月度教会委員会 於:大磯教会 信徒館
- ・7月13日(日)ミサ後 7月度月例会 //
- ・7月20日(日)14:00～ サマーキャンプ最終打合せ 於:大磯教会
- ・8月2日(土)～3日(日) サマーキャンプ 2025 於:大磯教会
- ・9月7日(日) 14時～ 第6地区福祉部会 於:大磯教会。

2. テハン神父の休暇 6月16日(月)～7月10日(木)

3. 聖歌隊の予定

- ・7月6日・15日(日) 10:00～10:45 ミサ前練習
- ・7月16日(水) 10:00～11:30 定例会
- ・8月24日(日) 合同練習 於:カトリック大磯教会

4. 帰天者

アシジ・フランシスコ 清水 源三 様 6月7日

編集後記

熱い真夏のような日々が続きますが、皆さまはいかがお過ごしですか？体調をくずされないようどうかご自愛くださいませ。

昨年の梅雨は、入りが6月21日で明けが7月18日と特に始まりが遅かったのですが、今年は梅雨入りが6月10日で明けるのがとても早そうです。既に近畿地方以西は6月27日に明けてしまいました。これは統計上最も早いのだそうです。

鉢植えの植物に朝夕2回の水遣りするのも今年は既に始まっています。植物たちは、朝は日の出とともに光合成を開始しますから、その時に十分な水分が必要で、朝の水遣りの時間帯は5時前後が理想です。遅くとも8時まで。夕方は日没後気温が下がってきてからなので18時以降となります。酷暑の日の朝10時～夕方の16時の間は水遣りNGタイム。水をかけたら鉢の中が熱湯と化し、根腐れして弱るか枯れるかしてしまいます。だから早朝のゴールデンタイムは絶対に外せません。私の場合、自宅と教会と畑の3ヶ所ありますから、出勤前2時間は植物メンテに没頭する至福の時間となります。

私は若い頃は海のスポーツに親しんだので、毎日天気図を見、ウェザーニュース社の有料局地予報をチェックし、気圧、風向、風速、潮流…を常に気にし記録する生活が普通でした。自然相手の仕事がかつと向いているのかなと思います。自分の意のままにならない天気や生き物こそが主人公であって、人間はそれに寄り添いアジャストする立場なのだと思います。大自然と向き合う中、最大のインパクトをもって神様との出会いを感じます。